

自営業 山本 典子 55

(東京都杉並区)

東京都中野区は、中野駅近くにある財務省所有の警察大学校等跡地開発に、国土交通省の補助金「まごころ交付金」を使って、高層ビルを核とした大規模開発を進めている。補助金の主な使い道は、都市計画道路、都市計画公園の土地取得費百四億円の四割分に充てる。それ以外に、都、二十三区の都市計画交付金、都区財政調整交付金などの補助金も使われる。

同区は、この警大跡地開

ミラー

発で「特に著しい利益を受ける、本年度四十億円を見ける開発事業者等」から寄付金を得る仕組みとして「要綱」もつくった。財務省も、当該地の入札条件として、この「要綱」で区と協議することを条件として

中野区に寄付金の怪

いる。

実は、寄付金は警大跡地開発に充当するわけではなく、別の場所の駅前再開発に投入するものとして積み立てることになっている。その額は、同区の説明によ

ると、本年度四十億円を見積もっているという。これでは、ある場所の開

発に国の補助金を使い、そこで開発事業者等には「特に著しい利益」が入るようになる。そして、その事業

ら、「官製談合」は、なかなかなくなるのではないだろうか。

ちなみに、中野区は大手ゼネコン七社と非公開で「勉強会」を繰り返している。その内容は、区を含めた関係者が知るのみで、実際の内容は情報公開請求でもチェックできない。区の担当者は住民説明会で、その「勉強会」の「成果」を開発計画に「反映させている」といった。こんなことが許されるのか。関係機関には、厳しくチェックしていただきたいと思う。